

難病連では 患者会と患者・家族さんをつなぐ 橋渡しの役割もしています。

同じ病気の仲間や希少難病のみなさんが集って
患者会を作り、様々な活動を続けています。
交流会や学習会、会報などを通して
悩みや不安を分かち合い
希望を持って生きる工夫をともに模索しています。

加盟団体

- (公社)日本リウマチ友の会岐阜支部
- 岐阜県心臓病児者の会(岐心会)
- NPO 岐阜県腎臓病協議会(岐腎協)
- つぼみの会愛知・岐阜 岐阜支部
- 岐阜県パーキンソン病友の会
- 岐阜県ヘモフィリア友の会(岐友会)
- 岐阜県筋ジストロフィー協会
- 岐阜県希少難病友の会(くぬぎの会)
膠原病、神経線維腫症I型II型、脊髄小脳変性症、
免疫性血小板減少症の他24種の疾病
- 岐阜県潰瘍性大腸炎・クローン病患者会(岐阜ちょう会)
- (公社)日本てんかん協会岐阜県支部(波の会)
- 岐阜県網膜色素変性症協会(JRPS岐阜)
- 日本ALS協会岐阜県支部
- 岐阜県肝炎の会 [準加盟]
- ぎふ低肺機能者グループ [準加盟]
- 後縦靭帯骨化症の会 [準加盟]
- (一社)全国ファブリー病患者と家族の会 岐阜県支部 [準加盟]
- 竹の子の会西東海支部岐阜グループ [準加盟]
- もやの会中部ブロック・岐阜 [準加盟]

ホームページに
各会の紹介ページ
があります

新たな患者会や患者グループの加盟を歓迎しています。



なんにゃん

毎年2月28日(2月末日)は
世界希少・難治性疾患の日。
RDD in 岐阜イベントを
行っているにゃん!

プライバシーは
お守りします。
相談は無料です。

まずは ☎058-214-8733 まで。

気軽にご相談ください。



発行・お問い合わせは

特定非営利活動法人 岐阜県難病団体連絡協議会

〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1
岐阜県福祉・農業会館 3階
TEL・FAX 058-273-3310

Eメール: gifunanbyo.kng@gifu.email.ne.jp
HP: <https://www.gifunanbyo.org/>



2026年発行

難病生きがい サポートセンター (岐阜県難病相談支援センター)

ご案内

ひとりで悩んでいませんか?
あなたの力になりたい



大人
子ども
の難病に関する相談を受けています
日常生活・仕事・学校のことなど

難病生きがい
サポートセンターを
運営しているのは?

特定非営利活動法人
岐阜県難病団体
連絡協議会です

特定非営利活動法人 岐阜県難病団体連絡協議会(以下
難病連)は、1973年に設立された難病患者・家族会の協議
会です。

相談事業や機関誌「KNG」発行、支部活動、署名・啓発
活動、ピアサポート研修会、お楽しみサークルなどを通じて、
難病患者・家族さんの支援を行ったり、その願いを広く行政
や社会に届けたりしています。

2004(平成16)年より国が各県に難病の相談窓口を設置
することになり、「難病生きがいサポートセンター」の運営を
岐阜県から委託されました。

また2008年から、特定非営利活動法人として活動をして
います。2023年には、設立50周年を迎えました。



◀加盟団体を
紹介する冊子

サポートセンターの
活動をご紹介します。
ページをめくって
ご覧ください。

相談
したい

もっと
知りたい

難病生きがいサポートセンターのご紹介

利用
したい

児童福祉法による 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 子どもの自立支援相談

慢性的な病気や治療が難しい病気の子どもと家族、病気の子と関わる全ての人(学校や企業など)を対象としています。

～気持ちを吐露する場です～

- 特別に相談することはないけれど、とにかく話を聞いてほしい。
- 身近な人には話せない不安な気持ちを分かしてほしい。

～相互交流の場があります～

- 同じ病気の人とはどのように暮らしているの？
- 同じような悩みを抱えている人に会いたい。

～学校等に同行するなど各種機関と連携します～

- 学校等に病気を理解してもらえない。
- 「治ってから」と言われたけど勉強がしたい。
- 学校等にどこまで配慮をもとめられるの？

サポートブック

～治療で治療・入院中の中高生のみなさんへ～

「心をつなぐサポートブック」



病気で治療・入院中の
中高生のみなさんの
サポートブック

※厚労科研小慢自立支援事業
学術班作成

就労相談

- 就労中に病気を抱えて悩んでいる方
- 病気とつきあいながら働きたいとお考えの方
- 就活にお困りの学生の方
- 従業員が難病となり心配な企業の方等の相談に応じます。必要な支援機関と連携し、伴走型支援を行います。

日常の相談

難病患者さんやご家族・支援者などからの病気・医療に関してや、療養生活に関する相談に応じます。なんでも気軽に話せる場所です。

医師による 電話相談

決められた相談日に、専門医が電話で直接相談に応じます。

- ▶ 相談には予約が必要です
予約は相談電話へ



難病ふれあい教室

- 疾病に関する学習・交流会
- 子どもに関する学習・交流会
- 就労に関する学習・交流会を毎年開催しています。病気・制度・生活の工夫、就学・就労について詳しく知ることができます。

ハローワーク 難病患者 就職サポーター による出張相談

- ▶ 原則毎月第3金曜日
予約は就労相談電話へ

交流会

みんなで語り合える
交流の場も設けていま
す(オンラインなど)。



難病医療福祉相談会

県内各地で年4回開催しています。専門医・保健師などと個別に相談できます。待ち時間には、同じ病気の仲間や患者会の方と日常生活の工夫や経験談などおしゃべりもできます。

相談者の声

先生にじっくり話を聞いてもらえ、胸のつかえがおりました。自分の病気に対して家族の理解が得られず悩んでいましたが、同じ病気の人と出会えて気持ちが軽くなりました。

ホームページの運営

<https://www.gifunanbyo.org/>

ホームページでいろいろな情報を発信しています。電話相談・医療福祉相談会などの詳しい日程・プログラムはもちろん、患者会関連のイベントも多数紹介しています。



応援員の派遣

在宅で療養している難病患者さん、小児慢性特定疾病患者さんのところに、日ごろの不安な気持ちを傾聴するなどの支援活動(応援内容は下記)をしていただくための応援員さんを派遣しています。詳しくは、難病生きがいサポートセンター(058-214-8733)までお問い合わせください。

■難病患者在宅療養応援員支援事業(岐阜県独自の事業)

岐阜県では、難病患者さんが安心して生きがいをもって在宅療養生活を送ることができる環境整備を推進するため、この事業を行っています。具体的には、看護師、理学療法士、作業療法士、音楽療法士、患者当事者、患者家族当事者などで、養成研修を受講し応援員として県に登録した方が、各自の専門性を生かして、傾聴を中心として、様々な支援をしています。難病生きがいサポートセンターと保健所が、患者さんと応援員をつなぐ役割をしています。

応援内容

- 患者さん・ご家族(介護者)の話し相手
- 要望や必要に応じた支援、情報の提供
- コミュニケーション機器に関する支援
- 趣味の時間の共有
- 応援員の専門性を生かした活動 など

対象

指定難病患者及び小児慢性特定疾病の児童などで、事業の活用を要すると難病生きがいサポートセンターまたは保健所が認めた者とその家族

意思伝達装置のお試し 問合せ：058-214-8733

コミュニケーション機器の購入を検討される際、その機器が使えるかどうかを試していただくための事業です。「伝の心」「ミヤスク」「ファインチャット」「透明文字盤」などがあります。機器の運搬は、原則 借用される患者さん又はそのご家族や支援者へお願いしています。



伝の心



ミヤスク



ファインチャット



透明文字盤

- 相談電話・FAX 058-214-8733
- 就労相談電話 058-273-0870
- 電話の受付時間 月～金曜日 9:30～17:00

- Eメール相談
gifunanbyo.kng@gifu.email.ne.jp

